

粉屋結び (こなやむすび)

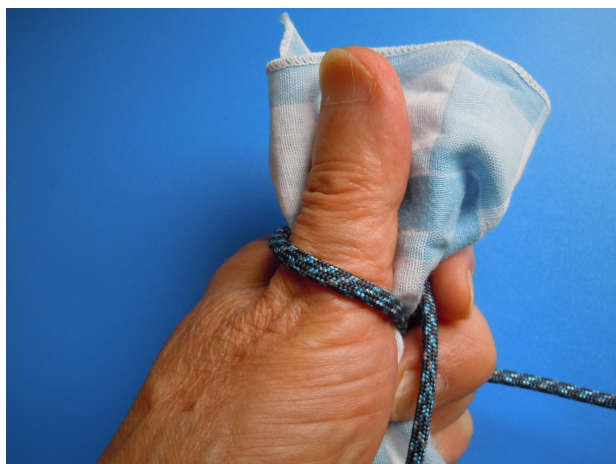


おもしろい名前がついたものです。
粉屋さんが袋に粉を詰めて、口を縛るときに使ったのでしょうか。
ものを束ねたり、袋の口を閉じたりするときに便利な結び方です。
この結び方の便利なところは、袋の中身が出ないように閉じる口を片手でしっかりと押さえながら、もう一方の手で操作ができること、また、袋を開けるとき、解きやすいということです。

結び方

① 袋の口を片手でしっかりと閉じて押さえます。

4本の指のいずれかで綴じ紐の一端を押さえ、紐を親指を巻くように袋の口に巻き付けます。

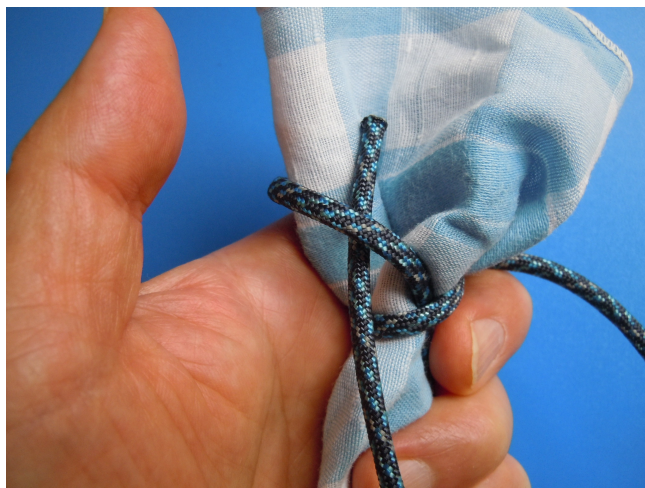


② もう1回巻くのですが、今度は親指の下を通るように袋の口に巻き付けます。このとき袋の口をしっかりと閉じるように紐を締めおきます。



③ 親指を抜いて、そのスペースに巻いてきた紐の端を通します。

そして両方の紐を引いて結びを締めます。そのとき、2回巻かれている紐が互いに密着するように修正します。



解き方



左上に出ている紐を右に強く引きます。すると輪が広がってきますので、その輪をつまみ引くと容易に解くことができます。



ものを入れた袋の口を閉じるのは難しいものです、中のものがこぼれ出さないように押さえなくてはならず、両手が使えない。もどかしい思いをした方も多いと思います。

この結び方ですと容易に口を閉じることができます。ただ、土嚢のような重たいものを口が開かないように縛るには不安があります。さらに本結びをしておく方が良さそうです。